

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



地球温暖化防止を願ってキャンドル・ナイト（6月22日・古賀市立図書館前）



新議会の紹介・・・・・・・・・・	2～7
ここが聞きたい！一般質問・・・・・・・・	8～12
9月議会会期日程案・・・・・・・・・・	13
6月議会の主な審議・・・・・・・・・・	14
6月議会議決結果一覧・・・・・・・・・・	15
請願・意見書、編集後記・・・・・・・・	16

第40号

平成19年（2007年）

8月10日

発行責任 古賀市議会

期待に応えます!!

古賀市議会の今後4年間

古賀市議会議長 矢野治男



国が進める三位一体改革により、地方への税源移譲も十分なまま地方交付税や国庫補助負担金の大幅な減額が行われる一方で、医療費をはじめとする扶助費等の支出の増大によって、地方自治体の財政は極めて厳しい状況に置かれています。

古賀市においても例外ではなく、平成17年度決算から実質単年度収支が赤字に陥り、財政調整基金を取り崩しながら予算編成がなされている現状であります。

これからの「第三次古賀市行財政改革大綱」は市民のご理解を求めながら、行政、議会が取り組む重要課題と考えております。

今後は市民の皆様が行政に参画していただく時代と思います。

ます。

あの大災害「阪神淡路大震災」から早急な復旧を成し遂げられた、神戸市、宝塚市は、あらゆる事業に「百人委員会」が設置され市民の合意の元で復旧事業が行われたと伺っています。「百人委員会」は、その後、地域コミュニティに活かされています。

次に「都市計画マスタープラン」の見直し時期にも来ています。個人の財産を左右する問題であり、また、古賀市においても市税の増減にかかわります。議会といたしましては、慎重審議の必要性を考えております。

古賀市の将来は子ども達に託されています。古賀市に「よい子」が育つ事が古賀市の展望にかかっています。教育に重点をおき学校、家庭、地域が一体となつて取り組む必要があると思います「文教厚生委員会」には現地調査の要請を行っています。また、各委員会

においても必要に応じた現地調査の要請をいたします。

私達議員は古賀市議会のなかで、現況を充分把握し次代に引き継ぐ責務を考えています。

副議長 許山秀仁



東に緑豊かな犬鳴山脈、西には白砂青松の花鶴浜を有する自然豊かな古賀市は、今年、市制10周年を迎え、全市を挙げて11月の記念式典に向け、プロジェクト「わ」を中心に、いろいろな行事に取り組んでおります。

この記念すべき時を市民の皆様とともに祝い、未来に向かって、新たなまちづくりを推進するために議会の果たす役割は重要なものになって参ります。

また、地方分権の時代を迎え、古賀市を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

す。市民のご理解とご支援の基に議会活動を行ってまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

そのような中で、本市の財政状況は徐々に厳しいものになってきています。

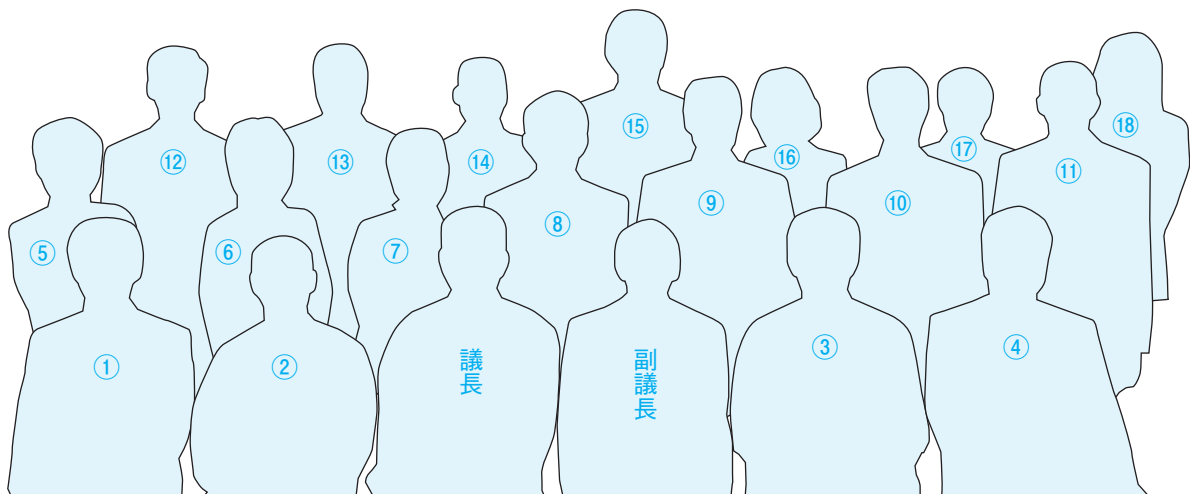
しかし、少子高齢化が進むなか、教育・福祉の充実、子育て支援、産業振興、安全・安心の街づくりなどに向かって限られた財源を有効に活用し速やかに対応しなければなりません。

重要課題には的確に対処する必要があります。これまで以上に、議会の責任と役割が大きくなつてきています。

矢野議長を補佐し、各議員の皆様と一緒に、行政とよりよい関係をはかり、市民の声を市政に反映できるよう全力をあげて取り組んで参ります。

今後とも市民皆様の暖かいご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

力を合わせて市民の



番号は議席番号です。次のページをご覧ください。

おもいを新たに!!

議員の抱負

1番 岩井 秀一
いわい ひでかず



人にやさしい古賀市をめざして、市民の皆様の願い、課題をじっくり見て、しっかりと聞いて、はつきり話します。そして、きっちり動きます。皆様との出会いを大切に、汗を流します。

2番 田中 英輔
たなか えいすけ



少子化、高齢化社会が目前にあります。元気で楽しく暮らせる街、長生きできる街、若者に希望と夢のある街づくりに、コツコツと市民の立場で市民の声を活かします。

3番 奴間 健司
ぬま けんじ



「議会に真剣力、市民の叫びに応えて。」をモットーに、バイオマスタウン、コミュニティバス、子育て支援、医療・介護難民対策等に全力投入。ホームページ等で市政・議会のホットニュースを提供。

4番 船越 嘉彦
ふなこし よしひこ



会派には属さず、ひとりで議員活動をしています。今回、監査委員になりました。長年の経験を活かして、監査委員の目で古賀市の財政問題に取り組んで行きたいと思っています。

5番 内場 恭子
うちば きょうこ



市民の皆さんの生活に密着した問題をしつかりと受け止め、願いや要望を実現するために力を尽くします。あなたの声を聞かせてください。「いま、必要な確かな野党」として頑張ります。

6番 芝尾 郁恵
しばお いくえ



2期目も「一人の声を大切に」、「現場第一主義」をモットーに、皆様方の声を少しでも市政に反映出来るよう努力いたします。さらに「安心・安全な笑顔あふれる街づくり」に取り組む決意です。

7番 前野 早月
まえの さつき



2期目も古賀清掃工場をメインテーマとして、市政への批判、監視、提言を続けます。環境・福祉・教育を中心に分かりやすい政治を目指します。「元氣・根氣・やる気のさつき」をよろしく願います。

8番 森本 義征
もりもと よしまさ



地域コミュニティーの充実！緊張感のある政治体制の確立、生活快適都市・古賀市づくりの為、『問題を先送りしない、責任ある政治』をモットーに、目標は地域力！郷土力！を蓄える事です。

9番 薄 一昭
すずき かずあき



必要なことをできるだけわかりやすい言葉で対話し、行政とのパイプ役になればと考えています。

11番 黒木 淳
くろき あつし



一 中川自警団のメンバーとして、安全・安心のまちづくりを継続します。
一 地域の活性化やほたるの人工飼育、水生生物調査、廃油石けん作りなど、環境への取り組みを推進します。

13番 松島 岩太
まつしま いわた



古賀という風土の中で、先人達が育んできた想いを充分に受け止め、受け継いだバトンの重さを噛みしめながら、いつの日か、そのバトンを渡すその日まで、精一杯、一心不乱に古賀のために働きます。

15番 飯尾 助広
いとお すけひろ



私は古賀が大好きです。豊かな自然の中で、高齢者の方が安心して暮らせ、子どもたちのにぎやかな声が聞こえるような「こころ豊かなまちづくり」を目指します。

17番 結城 弘明
ゆうき ひろあき



「豊かな古賀のまちづくり」のための行動指針は、現場第一主義のもと、計画・実施・検証・処置のサイクルを徹底し、サービスの質の向上を図り、特長ある市民満足度100%を目指し取り組みます。

10番 西尾 耕治
にしお こうじ



年々厳しくなる地方自治体の財政状況、治安についての社会不安が増大しているように思われますが、市民のためという本質を根本におき、安全安心のまちづくりを目指してまいります。

12番 船越 義彰
ふなこし よしあき



新人議員としてスタートをしましたが、緑豊かな故郷を守り、さらに誇れる郷土古賀を作るために頑張つて行きたいと考えています。
市民の皆さんと共に知恵を出し合ひましょう。

14番 三好 貴一
みよし けいち



今回の選挙で古賀市議会議員に初当選しました。
新一年生として市民一人ひとりの人権が尊重される、新たな古賀市を目指してがんばります。

16番 倉掛 小竹
くらかけ しのぶ



住んでる街を住みたい街に！私たちの暮らしの課題を解決するために、暮らしの中で感じる様々な問題を、「生活って政治」を合言葉に、行政に声を届け、市民自治を広げることを目指します。

18番 姉川 さつき
あねがわ さつき



はじめまして！
議員になり日々勉強です。文教厚生委員として福祉・教育の諸問題に、良識と情熱を持って取り組みます。初心を忘れず、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

市民とともに くらしを考え みらいを築く

常任委員会

- 議長 矢野 治男
- 副議長 許山 秀仁
- 監査委員 船越 嘉彦

総務

委員長 森本 義征
副委員長 薄 一昭
委員 岩井 秀一
委員 奴間 健司
委員 船越 嘉彦
委員 倉掛 小竹
委員 許山 秀仁

総務部（総務、人事秘書、市税、収税各課）
企画政策部（経営企画、経営管理、財政各課、土地利用政策室）

文教厚生

委員長 黒木 淳
副委員長 芝尾 郁恵
委員 田中 英輔
委員 内場 恭子
委員 飯尾 助広
委員 姉川さつき

保健福祉部（福祉、健康づくり、高齢者福祉、こども政策各課、隣保館）
教育部（教育総務、学校教育、社会教育各課、サンフレアこが、青少年センター、給食センター）

市民建産

委員長 結城 弘明
副委員長 松島 岩太
委員 前野 早月
委員 西尾 耕治
委員 船越 義彰
委員 三好 貴一

市民部（市民、国保年金、市民共働、環境各課、人権センター）
建設産業部（産業振興、都市計画、建設、下水道、水道各課、終末処理場、浄水場）

◎古賀市議会では2名以上で
会派を構成しています。

（◎は代表）

さん み かい 山 海 会

◎田中 英輔 三好 貴一
倉掛 小竹

山から海へ続く美しい古賀市。自然や人と人とのつながりを大切にし、市民が安心して暮らせる街づくりを提案していきます。

き ら り 希 来 里

◎前野 早月 奴間 健司

バイオマスタウン構想・医療介護問題・少子化対策・教育問題・市制10周年の検証に全力で取り組み、ふる里古賀の未来に希望を。

こうないました！

議会の



◎各常任委員会は、議案の審議、所管事務調査等を実施します。議会閉会中も付託事項について調査研究を行い、各施策の進捗状況チェック、提言等を行います。

◎各委員会は原則公開です。本会議同様、市民の皆さんの傍聴をお待ちしています。（傍聴人数に制限があります。5～10人）

議会報編集特別委員会

委員長 奴間 健司
副委員長 内場 恭子
委員 芝尾 郁恵
委員 船越 義彰
委員 倉掛 小竹
委員 姉川さつき

議会だよりの円滑な発行に伴う編集方法等の総合的な調査研究
※委員の構成は各常任委員会選出3名、会派選出3名の計6名からなっています。

議会運営委員会

委員長 西尾 耕治
副委員長 森本 義征
委員 奴間 健司
委員 黒木 淳
委員 三好 貴一
委員 結城 弘明

議会運営、議長の諮問について審査
※委員の構成は各常任委員長3名、会派選出3名の計6名からなっています。副議長は委員外議員として参加します。



会派の紹介

こうめいとう こがしぎだん 公明党古賀市議団

◎西尾 耕治 芝尾 郁恵

「大衆福祉の公明党」「庶民の味方、公明党」として、結党以来一貫して行動してまいりました。今後も同様に行動していく決意です。

しんわかい 新 和 会

◎松島 岩太	岩井 秀一	森本 義征
薄 一昭	黒木 淳	船越 義彰
飯尾 助広	結城 弘明	姉川 さつき
許山 秀仁	矢野 治男	

保守としての見識と、良識ある判断に基づき、声無き声に耳を傾け、現場で汗をかき、共に夢を語り、ただ故郷のために働きます。

◎内場恭子議員、船越嘉彦議員は無会派です。

一般質問

市独自の年金相談窓口を

(答) 社会保険事務所に要望する



内場 恭子議員

保証することは理解もできるが、国の制度のため慎重に検討すべきだ。相談は国保年金課も対応。相談窓口の開設を社会保険事務所に要望する。

問 早急に市独自の相談窓口と専門員の配置を要望する。

高齢者への医療制度は問題

問 年金がもらえないなどの「消えた年金」は問題で早急な対策が必要。状況は、最低保障年金については、年金相談窓口の開設はどうか。

市長 年金受給権者は延べ17916人。無年金者の把握は困難。最低限の所得を



「一日も早く」解決を

市長 加入から3年間、負担の激変緩和措置がある。

問 保険料滞納者へ資格証発行は問題。発行への考えは。

市長 1年以上の滞納で資格

証を発行をする。

問 国民生活基礎調査では、05年の平均所得は前年比2・9%減の563万8千円。前年比16万6千円所得減。「収入の少ない高齢者世帯の増加」が原因。日本共産党市民アンケートでも「生活が苦しくなった」が約69%。原因

市営住宅での高齢者、障がい者対策は

(答) 高所居住者など、バリアフリーを基本に



田中 英輔議員

問 市営住宅の建替えが進んでいる。既設住宅は、高齢者、障がい者には暮らしにくい住宅環境がある。建替え住宅は希望に答えられているか。

市長 市営住宅の46%が60歳以上を含む居住者で、バリアフリー化した再生住宅では60%となっている。

問 居住者からの意見の聴取

は「医療費や介護保険料の負担増」。将来への不安を約86・9%が訴えている。このように生活が苦しい時に保険料負担は大変。見解はどうか。

市長 国が法律で決めたもの。その趣旨はいいと思う。スムーズな運営と地域・高齢者の実情を取り込んでいく。

やその方法は、高齢者、障がい者の方の居住区の把握はあるか。

総務部長 管理人や総務課を窓口としている。高齢等の方で3階以上に43%の方が居住され、対応が必要と考える。

問 継続使用住宅の対応は。

総務部長 バリアフリーを基本に対応する施策を取り組みたい、住み替えは補欠募集で。

古賀市交通バリアフリー基本構想について

問 新駅開業へどのような点に留意し協議に臨むか。

市長 新駅は地元期成会とJ



暮らしやすくなった市営住宅

Rにより協議される。通路、周辺整備は市の担当で「古賀市交通バリアフリー基本構想」を基にする。

問 新駅を中心とした「古賀市交通バリアフリー基本構想」と関係者協議は。

市長 改めて作成しない、本年度からの「街づくりワークショップ」を通し研究したい。

問 千鳥駅周辺は「基本構想では重点整備地区」とされている。関係方面との協議、折衝の進捗は。

中村副市長 駅のバリアフリー化にいたっていない。地元要望も踏まえ粘り強く、抜本的整備計画を求め接触する。

本年度東側の歩道整備を行う。平成22年を目標に東西の道路整備を行う予定である。

市民が利用しやすい健康診断の実施を

(答) 制度が変わっても万全の対策をとりたい



倉掛 小竹議員

もある。市としては従来の健康診断の体制が後退しないよう、万全の対策をとりたい。

乳幼児医療制度の年齢引き上げを

問 市民にとって一番身近で利用しやすい健診は市が行う健康診断である。来年度から受診できなくなる市民がいると聞いたが。

市長 医療制度改革において平成20年度から各医療保険者に検診と保健指導の実施が義務付けられている。被用者や被扶養者に対する健診も充実するものと考えている。市で負担するものではない。

問 来年度までのわずかな期間で徹底されるかは大いに疑問である。制度が整うまで、受診を希望する市民が締め出されることのないように枠を残すべきでは。

市長 まだわからないところ



早く！早く！乳幼児医療の年齢引き上げを

市長 具体的に答えられる段階ではない。市の財政状況などを勘案して、任期である22年度までに実現したい。

問 現職候補者ということでは早期実現をイメージさせた影響は大きい。現在、病気の子どもを持つ家族にとっては待

ったなしの問題。1年でも早く実現する責任と義務が市長にはあると思うが。財政が厳しい中で多くの市町村が無駄を省き、1年刻みで対象年齢を上げている。他の自治体の一歩先行く姿勢を市長に望みたい。

校区コミュニティ活動への行政の取り組みは

(答) 人材育成・資金面など共働の立場で支援



飯尾 助広議員

市長 地域の皆さんで主体的に検討していただきたい。行政は情報提供や助言等の側面的支援を行っていきたい。

問 地域におられるリーダー塾の卒業生などをいかにフォローし地域活動に結びつけるのか。また今後、人材の育成をどう進めるのか。

教育部長 18年度から、より実践的な講座に取り組んでおり、地域活動に結びついたグループも増えつつある。

今後、実践を通じた活動を研修会等に反映させ、人材育成を進めたい。

問 共働という場合の行政側



校区単位での活動がはじまっています

の姿勢が弱いのではないかと。単に地域に任せるのではなく、全体的に見て、将来地域に期待する役割を具体的に提示し、行政と一緒にやってやりましようという姿勢を示すべきではないか。将来校区に期待する事業の青写真はあ

のか。

市民部長 行政はもちろん、市職員の意識啓発も含め地域活動に取り組んでいる。

現在25事業について、将来地域との共同事業として検討している。

問 2年間の準備期間が終わったあとの行政の支援は。

市長 事務費などの経費については、継続して支援していくよう検討している。

千鳥駅前整備の進捗状況と今後の計画は

(答) 22年度までに一定の方向性を出したい



岩井 秀一議員

問 千鳥駅及び周辺の整備が立ち遅れているが、現在までの対応と遅れの原因は何か。

市長 駐輪場の確保など、一定の整備は進めている。安全確保と円滑な交通処理が課題と考える。また、千鳥駅は駅舎建設が先行したもので、結果として周辺整備が、後追いのになったという状況。

問 平成何年をめぐりに千鳥駅の改修・整備事業の完成をめざしているのか。

市長 第3次古賀市総合振興計画の計画期間である平成22年度までには、古賀市交通バリアフリー構想に基づき一定の方向性を示したい。

問 構想として、どの程度の



現在の JR 千鳥駅

規模を考えた青写真なのか。建設産業部長 青写真はないが、規模として3000㎡程度を考えている。

問 千鳥駅は特定旅客施設と定められているが、エレベーター設置の要望書の提出についてどう対応するのか。

中村副市長 実現したいが、構造上難しい。ホームへは駅職員に依頼すれば出られる。駅舎の整備については、引き続き要望していく。

合併問題について

問 合併問題について国、県、古賀市の意向はどうであるか。

山下副市長 国は積極的に推進、県においても支援等を実施している。市としては機会があれば前向きに検討していきたい。

高齢者世帯に黄色いハンカチを

(答) 地域包括支援センター等で検討

一昭議員

薄

問 増え続ける高齢者世帯、独居高齢者世帯に対し、健康であることの意思表示として外から見える場所に黄色のハンカチまたは旗を掲げてもらうのはどうか。

市長 高齢者が増加していることは重要なこととして十分承知している。市では地域や関係機関とともに地域包括支援センターの更なる充実を図

問 近隣自治体の反応は。

山下副市長 新宮町を除く糟屋郡6町では合併研究会を立ち上げ、検討しているようだ。

問 人口20万人規模の特例市を目指す意向はあるか。

市長 現時点で、そこまでは考えていない。

問 現在、黄色いハンカチを実施している自治体は、全国に何ヶ所くらい残っているか。

保健福祉部長 現在、宮崎県に一ヶ所確認している。市では、地域包括支援センターでネットワークを構築すべく民生委員、福祉会委員と協議中であり、紹介したい。

問 高齢者世帯の健康を促進し、また、相互扶助を高めるために黄色いハンカチの実現の可能性はいかがか。

市長 振り込め詐欺が横行し

ている現在、民生委員、福祉会委員及び地域包括支援センターを核として実行の可否を協議したい。

こどもを育てる教育について

問 20年くらい前から小中高大学を問わず、指示待ちの子ども達が増えていると聞いているが、市の教育現場でも現在1から10まで教える教育になっていないか。

教育長 指示待ちのこどもの実態は確かにあるが、基本的な知識、技能の育成と、自ら学び、自ら考える力の育成を総合的に育成していくことが大切であり才能を伸ばすことは部活の役割が大きいと考え

真に住みよい古賀市とするための施策は

(答) 人を中心に据えた人権尊重都市を目指す



三好 貴一議員

問 市民一人ひとりの人権が尊重され、差別のない古賀市の施策は。

市長 総合行政として人権施策の確立を目指した古賀市としたい。また、古賀市の将来像として「輝く未来へ はつらつ交流都市こが」とし、まちづくりの合言葉を「人が真ん中、古賀新時代」とする。

問 人権施策の基本指針に基づき実施計画等の策定期期は。

市民部長 人権施策基本指針に基づく事業実施計画は、本年8月をめどに策定する。

問 4月から設置された人権センターの役割は。

山下副市長 市民との交流ス

ペースを設け、今後人権問題の解決に向けて、市民を巻き込んで事業を展開する。

高齢者対策は

問 高齢者に対しての諸事業が財政上の理由によって縮小、削減の方向にあるが。

市長 厳しい財政状況のもと



「いのち輝くまちづくり」をめざして

で存続、持続可能な施策として維持していくことが重要である。

問 市長は、「日本一住みたいまち古賀」を実現すること、高年齢者が安心して暮ら

せるまちづくりを実現していただきたいが。

市長 この介護保険制度を柱として、今の介護保険制度を介護予防という観点に重点を移し、少しでも元気で暮らし

(答) 内容について区長会と協議していきたい

各校区単位での防災訓練に取り組んでは



芝尾 郁恵議員

問 災害から、市民の命、財産を守るため策定した古賀市

地域防災計画に沿って市民の防災意識の向上を望む。まず、防災マップを配布しては。

市長 平成17年10月の行事予定表に掲載し、全戸配布し、

避難場所、関係機関の連絡先や情報提供も行った。

問 行事予定表の裏に掲載したため、処分した市民も多い。

新たに作成する防災マップは、単独で保管しやすいマップであるべきと思う。ハザードマップも必要では。

総務部長 今年、作成するマップは、保管できる、見やすい、ハザード的なものも、取り入れたものを作りたい。

問 避難場所の看板が、小さいしやれたもので、わかりづらいとの声があるが。

市長 大きな看板の案もあったが、小学校の看板より大きい看板はおかしいと考えた。常日頃から、学校の体育館が避難場所であることを、周知徹底し、ご理解頂きたい。

問 各校区単位での防災・避難訓練に取り組んでは。

市長 防災訓練は、地域で実施することが有効。実施の具体的内容について、区長会と協議していきたい。

問 災害時要援護者(高齢者・障がい者等)に対しての要援護者リスト・マニュアル作りの取り組み状況は。

福祉部長 個人情報問題がネックで進んでいないのが実情だが、高齢者・障がい者の方の実態を把握してマニュアル・プラン策定の基礎データとし整備を考えていく。

飼い犬等のふん害の防止に関する条例の制定について

市長 実効性の観点からは難しい面もある。



目立ちにくいとの声もある避難所の看板

毎日灯油ドラム缶38本分使用の工場は異常

(答) 何で灯油発電を非難されるか分からない



前野 早月議員

問 古賀清掃工場と同じ三井造船のキルン式ガス化熔融炉は全国で6ヶ所あるが、これ程灯油を使う施設はない。異常な工場になっている。

市長 古賀清掃工場で発電した分だけ、九電で使う灯油が減る。灯油を発電に使うことを非難されるのか分からない。

問 試験稼動中からセラミックス管の半数近くが破損し、新世代セラミックス管に交換されたが、再破損している。このことを知っていたか。原因についての説明、報告は。

市長 玄界環境組合より、報告と原因の説明があった。

問 度重なるセラミックス管の破損についての感想は。

市長 お答えしたいのはやまやまであるが、グレーゾーンに入っている。破損本数は当初より非常に少ない状況。

問 破損の評価は。今後の維持管理の費用負担の協議結果は。来年3月までの保証期間の延長を求めるべきでは。

市長 本来、玄界環境組合が責任と権限の範囲内で適正に処理されるべきものであることから答弁は差し控える。基本的な考え方は約束された機

問 行革の具体的内容をなぜ市長選で問わなかったか。

市長 行革推進委に図ることにしていたのでその時点では具体策は出ていなかった。

問 市長選後の行革推進委に提出した歳出削減目標額（はり灸削減、給食センター、図書館等の民営化等）による14億8千万円）の庁内合意は。

山下副市長 行っていない。

問 行革の具体的な内容をなぜ市長選で問わなかったか。



奴間 健司議員

(答) 行っていない

行革による歳出削減目標額の庁内合意形成は

能が発揮されるまでは、追加費用は三井造船の負担になる。

問 来年3月の保証期限が切れた後、有償（税金）となる定期点検他の費用で把握している金額は。

市長 そのようなデータは持っていないし、この場ではな

じまないと思っている。

古賀市ごみ処理基本計画に廃食用油・剪定枝葉・生ごみの資源化を盛り込むべきでは

市長 計画前提の諸条件に大きな変化があれば見直す。費用対効果、収集運搬体制を検討してから方針を出す。

市長 大規模改革では、案を示し、それをもとに修正して仕上げるやり方をとった。

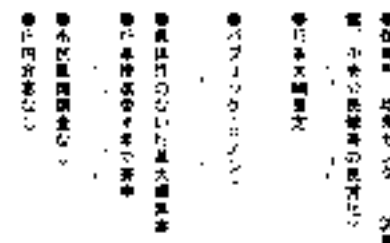
問 7月のパブリックコメント（以下PC）をへて8月中旬行革大綱作りは可能か。

山下副市長 可能だ。

問 企画政策部で財政推計、市民意識調査、行政評価をもとに慎重に検討すべき。8月中旬策定にこだわるべきではないのではないか。

市長 部長を中心に精力的に検討し審議は尽くされた。予定の日程で進めたい。

問 はり灸助成削減（年間60枚を20枚に減）はなぜPCに



貴重な公共サービス失う市民不在の行革

かけなかったか。

市長 行革の先取りでなく部課の検討結果を予算化した。

問 市長は3月議会では行革の先取りと答弁した。

市長 部課は行革審議と関係なくあげた。見方によっては先取りと言ったつもりだ。

問 屁理屈で市民の意見を聞く機会を奪った。はり灸問題を行革推進委で審議したとき保健福祉部に相談したのか。

山下副市長 予算査定で適正に処理した。行革とは無関係。

問 もう一度協議しては。

市長 はりが効果がないとは思っていない。医師の診断があれば保険がきく。今後も絶対変えないということではなく必要な検討はする。

◆平成 19 年古賀市議会第 3 回定例会会期日程（案）◆

会期 9 月 3 日～9 月 26 日 24 日間

日	曜	開議時刻	摘 要
9/3	月	午前 9 時30分	開会・会期の決定・会議録署名議員の指名・諸報告・議案上程(内容説明・大綱質疑)・一部議案は質疑(委員会付託)・討論・採決・請願上程委員会付託
4	火	午前 9 時30分	常任委員会
5	水	午前 9 時30分	常任委員会
6	木	午前 9 時30分	常任委員会
7	金	午前 9 時30分	初日上程議案の質疑(討論・採決)・追加議案の上程(内容説明・大綱質疑)
8	土		
9	日		
10	月	午前 9 時30分	一般質問
11	火	午前 9 時30分	一般質問
12	水	午前 9 時30分	一般質問
13	木	午前 9 時30分	決算特別委員会
14	金	午前 9 時30分	決算特別委員会
15	土		
16	日		
17	月		敬老の日
18	火	午前 9 時30分	決算特別委員会
19	水	午前 9 時30分	決算特別委員会
20	木	午前 9 時30分	決算特別委員会
21	金		休会 午後 1 時30分 決算特別委員会(予備日)
22	土		
23	日		秋分の日
24	月		振替休日
25	火		休会
26	水	午前 9 時30分	初日上程議案の討論・採決・追加議案の質疑・討論・採決・請願審査等・閉会中の継続審査付託・閉会

※会期日程は、8 月 29 日（水）の議会運営委員会で正式に決定いたします。また、一般質問をする議員名、質問事項もその議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示いたします。

◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。ホームページでもご覧になれます。会議録は、議会事務局、市立図書館にあり貸し出しをしています。

◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。ぜひ傍聴して下さい。（本会議の傍聴席は 46 席、委員会傍聴席は原則 5 ～ 10 席です）

◎請願書の締切りは 8 月 28 日（火）午後 5 時です。

6月議会の主な審議

教育予算の拡充を求める請願を不採択

願意を生かす意見書は提出

未来を担う子どもたちに、豊かな教育環境と、少人数学級のための定数改善計画や、義務教育費国庫負担制度について、国庫負担率を2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること等、教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願は、文教厚生委員会に付託されました。

委員会での結果、定数改善や学校施設整備等の教育予算

当然。教育は国が基本的に行うものであり、地方交付税を含めさまざまな予算措置をすべきとの賛成討論がありました。賛成2名、反対3名で不採択。

の充実・拡大については理解するが、国庫負担金を2分の1に復元することに対し、もうすでに決定している負担金の割合を復元することは、現時点として実現困難であると認識し、反対との討論。

一方、子どもに豊かな教育を保障することは社会の基盤。地方交付税削減で地方格差の拡大を懸念。国庫負担金を2分の1に復元することは

最終日、本会議場では、自治体の財政力や保護者の家計の違いによつて子どもたちが受ける「教育水準」に格差があつてはならず、教職員の定数を増やすことは必要。また、制度の堅持が願意であり、堅持を訴え続け、教育予算を国全体として確保・充実してほしいなどの賛成討論を3名が行いました。採決の結果、賛成6名、反対13名で不採択。

(P 16参照)

6月議会の賛否一覧

	改正 臨時会 国民健康 保険税条例の一部	災害対策等について の意見書	異常気象による 意見書	教育予算の拡充を 求める意見書提出 に関する請願	拡充を求める 意見書の提出	教育予算の確保と 拡充を求める 意見書の提出
結果	承認	可決	不採択	可決	可決	可決
表決数	14 : 5	18 : 1	6 : 13	19 : 19	19 : 19	19 : 19
岩井 秀一	○	○	●	○	○	○
田中 英輔	●	○	○	○	○	○
奴間 健司	●	○	○	○	○	○
船越 嘉彦	○	○	●	○	○	○
内場 恭子	●	○	○	○	○	○
芝尾 郁恵	○	○	●	○	○	○
前野 早月	●	○	○	○	○	○
森本 義征	○	●	●	○	○	○
薄 一昭	○	○	●	○	○	○
西尾 耕治	○	○	●	○	○	○
黒木 淳	○	○	●	○	○	○
船越 義彰	○	○	●	○	○	○
松島 岩太	○	○	●	○	○	○
三好 貴一	●	○	○	○	○	○
飯尾 助広	○	○	●	○	○	○
倉掛 小竹	○	○	○	○	○	○
結城 弘明	○	○	●	○	○	○
姉川さつき	○	○	●	○	○	○
許山 秀仁	○	○	●	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席順

臨時会 5月15日

正・副議長選出

市会議員選挙後の初めての臨時会で、議長選挙が行われました。投票の結果は、矢野治男議員12票、内場恭子議員6票、無効2票でした。

矢野治男議員が議長に選出されました。

副議長選挙の結果は、許山秀仁議員12票、前野早月

議員6票、無効2票で、許山秀仁議員が副議長に選出されました。ほかに各常任委員会などの委員長・委員の選出を行いました。(6ページ参照)

市税条例の一部改正や老人保健補正予算案の専決処分を賛成全員で承認。国民健康保険税条例の一部改正を、賛成14、反対5で承認しました。

終末処理場機械設備更新工事契約 2億370万円

この工事は、平成14年から10力年計画で、国の補助を得て行っています。12社中4社が入札辞退をしました。

議員からは、入札辞退の理由、契約金額の妥当性について

てなどの質問がありました。執行部からは、入札の辞退は自由で、理由を問うことはないとの回答でした。賛成全員で可決しました。

後期高齢者医療保険 広域連合議員に中村市長を選出

広域連合議員に中村市長を選出

平成20年4月から始まる「後期高齢者医療保険制度」を運営する「福岡県広域連合」の議会議員が決まりました。

選挙の結果、中村市長13票、

矢野治男議長6票で、中村市長が「連合議会議員」に決まりました。「広域連合議会」では、保険料や細かな利用規則などが決められます。

5 月臨時会で審議した議案の結果

会期：平成 19 年 5 月 15 日

議案号数	議 案	審議結果
第 45 号	監査委員の選任	同 意 19 / 19
第 46 号	専決処分（平成 18 年度古賀市老人保健特別会計補正予算（第 5 号））	承 認 19 / 19
第 47 号	専決処分（古賀市税条例の一部を改正する条例の制定）	承 認 19 / 19
第 48 号	専決処分（古賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）	承 認 14 / 19

6 月定例会で審議した議案の結果

会期：平成 19 年 6 月 1 日～ 6 月 15 日

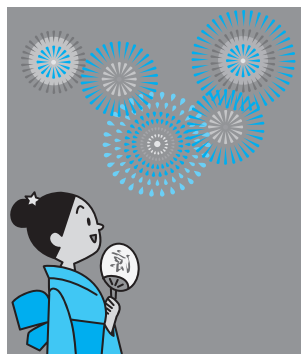
議案号数	議 案	審議結果
第 49 号	古賀市税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 19 / 19
第 50 号	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意 19 / 19
第 51 号	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意 19 / 19
第 52 号	異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書の提出	原案可決 18 / 19
諮問第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦	適 任 (19 / 19)
19 年請願 1	教育予算の拡充を求める意見書提出に関する請願書	不採択 6 / 19
第 53 号	工事請負契約の締結（平成 19 年度補助公共下水道事業古賀終末処理場機械設備更新工事）	原案可決 19 / 19
第 54 号	教育予算の確保と充実を求める意見書の提出	原案可決 19 / 19

傍聴アンケートありがとうございます

市民に親しまれる議会をめざします。

古賀市議会では、傍聴アンケートを実施しています。ぜひ、傍聴においでください。
いただいたアンケートは、議会運営委員会が目を通し、議員図書室に置いて、議員はいつでも見ることができるようにしています。アンケート中の執行部への意見や要望は、伝えていきます。なお、回答を求められている件については、直接お答えするか必要なものは、議会だよりに掲載いたします。

今後ともご協力をお願いいたします。



19年請願
教育予算の拡充を求める意見書提出に関する請願書

請願書

請願意見書

助・奨学金等の教育予算の充実に提出することを求めるものです。文教厚生委員会に付託され、審議しましたが、賛成

意見書

異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書の提出について

異常気象の頻発などで多くの人命が失われ、農作物などにも甚大な被害がもたらされています。このような状況下から環境立国を目指す日本は

教育予算の確保と充実を求める意見書の提出について

この意見書は、「19年請願1」の願意を生かすため、教職員定数改善計画の実施、義務教育費国庫負担制度堅持、教育予算確保を求めるものです。本会議において賛成全員で採択されました。

提出者 西尾 耕治
賛成者 芝尾 郁恵

少数で不採択となりました。
(P14参照)
請願者 長澤 由利子
紹介議員 奴間健司、前野早月、三好貴一

この請願は、第8次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画の実施、義務教育費国庫負担制度について国負担率の1/2復元を含め堅持すること、学校施設整備費や就学援助

本議会において賛成多数で可決され、国会並びに政府に提出されました。

提出者 黒木 淳

賛成者 芝尾郁恵、田中英輔、飯尾助広、姉川さつき

ホットニュース

古賀市独自の年金相談窓口が一般質問や議会の要請で実現しました。(平成19年7月17日から10月12日まで)
詳細は市広報等をご参照ください。

編集後記

新しい議員構成による議会活動がスタート。市民の皆さんのご期待に応え、開かれた活発な議会となるよう全員で頑張る決意です。議会報編集委員会も経験者2名、未経験者4名で設置。第40号、まさに創刊10周年という記念すべき節目を迎えました。

議会だよりの基本は、議会での審議内容をわかりやすくお伝えすること。限られた紙面ですができるだけありのまま報告したいと思

います。また、一昨年から改善してきた賛否一覽表や討議要旨等の掲載等についても更に充実・発展できたらと思います。過去10年間培ってきた成果を基礎に、市民の皆さんの声を反映し、読んでいただける「議会だより」を目指します。よろしく願います。



いまこそ!(古賀北中平和劇)

奴間健司

お知らせ

議会の録画テープを貸し出してあります。また、会議録の頒布もしています。ご希望の方は議会事務局にお申し出ください。

議会報編集特別委員会

委員長	奴間 健司
副委員長	内場 恭子
委員	芝尾 郁恵
委員	船越 義彰
委員	倉掛 小竹
委員	姉川 さつき

9月定例議会は、9月3日に開会されます。詳しくは会期日程案をご覧ください。